

9月8日：VN 指数はもみ合い後下落 (VN-Index -0.13%)

- 中国が肥料メーカーに対し国内の需要を確保するため輸出を禁止したことを受け、肥料・化学セクターが上昇し、VN 指数もプラスで始まった。
- キャッシュフローは食品・飲料セクター、建設資材セクターにも波及し、前場はプラス圏で引けた。
- しかし、後場には売り方が台頭し、指数は前日終値付近まで下落した。不動産、銀行セクターへの売りが集中した。
- 引けにかけては売り方の勢力が優勢となり、指数は下落して引けた。
- 買いと売りは拮抗し、254 銘柄が上昇、252 銘柄が下落、61 銘柄が変わらずだった。
- 流動性は増加し、売買代金は前日から 6.5%増の 26.2 兆ドンだった。

VN30 指数も売り優勢 (VN30 -0.48%)

- 大型株で構成する VN30 指数は、12 銘柄が上昇、17 銘柄が下落、変わらずは 1 銘柄と売り優勢だった。
- ベカメックス (BCM、+2.3%)、ベトナム・ラバー・グループ (GVR、+1.3%)、モバイルワールド (MWG、+0.9%) などの買いが目立った。
- 一方、ビンググループ (VIC、-2.8%)、ビンコムリテール (VRE、-2.3%)、ビンホームズ (VHM、-2.0%) などは売られた。

セクター・個別株の動き

- 中国国内の需要確保のため、中国が肥料の輸出を禁止したことを受け、DCM(+6.95%)、DPM (+6.87%)、DDV(+14.55%)などの肥料メーカーが急騰した。
- ホアファット・グループ (HPG、+0.35%) は8月の建設資材用の鉄鋼販売額が年初来で最大となった。

- 外国人はホーチミン市場で 1,000 億ドンを買い越した。VP バンク (VPB、+0.23%) が 5,230 億ドンと最も買われた。反対に、VN ダイヤモンド ETF(FURVFNND、+0.04%)、ホアファット・グループ (HPG、+0.35%) はそれぞれ 2,147 億ドン、1,255 億ドンと大きく売られた。
-

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。